



2024年11月14日

各位

会社名 マーソ株式会社
代表者名 代表取締役社長 西野恒五郎
(コード番号: 5619 東証グロース)
問合せ先 取締役管理本部長 吉田弘
(TEL 03-6435-6692)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2024年2月14日に開示した2024年12月期(2024年1月1日~2024年12月31日)の業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正(2024年1月1日~2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,040	630	630	437	123.17
今回発表予想(B)	1,330	147	147	102	28.86
増減額(B-A)	▲710	▲483	▲482	▲334	
増減率(%)	▲34.8	▲76.6	▲76.6	▲76.6	
(参考)前年実績 (2023年12月期)	1,809	618	601	387	112.06

2. 修正の理由

前回業績予想時において、MRS0 ワクチン売上を639百万円と見込んでおりましたが、162百万円の見込みを修正いたしました。これは、2024年10月に開始した秋冬定期接種においては、これまでの自治体主導の接種体制から、医療施設を主体とした新たな接種体制へ移行し、MRS0 ワクチンの需要が減少となったことによるものです。MRS0 ワクチンについては、2024年9月まで自治体と医療機関において秋冬定期接種の準備期間となっており、接種運営体制が整備されるまで業績予想を据え置いてまいりましたが、秋冬定期接種体制が明確になったことから修正を決定したものです。

またDX(ワクチン除外)については、売上を607百万円から424百万円に修正いたしました。行政DXの新規受注減少、受託開発案件の一部を減少による計画との差異を反映し減収の見込みとなりました。なお受託開発案件の一部減少は自社サービス開発を優先したことによる発生となります。

コストについては、MRS0 ワクチンの契約減少によるサーバ構成の縮小等により売上原価の減少が発生した他、従業員の採用計画に対して採用時期が後ろ倒れしたことによる人件費の減少等もありましたが、各段階利益において減益となる見込みとなりました。

(本日公表の「2024年12月期 第3四半期決算説明資料」もご参照ください。)

(注意事項) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があることをご承知おきください。

以上